

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町森林組合

いしづか ゆうき 石塚 裕樹さん

「町」おこしに繋がるような仕事は、今年の8月から雄武町で暮らす石塚さん。出身は鳥取県で、現在は雄武町森林組合に勤務しています。

「生まれてから山陰地方を離れたことがなかったのですが、地元を離れて、視野を広げてみたいと思っていました。農林業に興味を持っていたところ、森林組合の募集が出ていることを見つけて、妻の出身でもある北海道に行ってみようと思いを決意しました」と移住のきっかけを話してくれました。

現在は山林調査の仕事を担当しているといい「入ったばかりなので、仕事の内容を覚えている最中です。」

前職で、山林調査や木の伐採に従事していた経験もあるので、それらの経験も生かせるように努力していきたいです」「北海道の山林は、山陰地方とは木の種類や山の形状、植林方法まで違うところが多くあるため、知識が役に立たないこともあり、大変なこともあります。周りの人のサポートのおかげで乗り越えられています」と毎日が充実している様子。

「今は、仕事を覚えることで精一杯ですが、今後は、意外性のある事業や、商品開発などで、組合の発展に携わることができればと思っています」と将来の目標について力強く話してくれました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼小学校と保育所の運動会に取材でお邪魔しました。毎年運動会や学芸会などを取材すると感じるのですが、子どもたちや保護者、地域の人の笑顔を見ているとこちらもつられて明るい気持ちになります。新型コロナウイルス感染症でまだ大変な時期が続きますが笑顔で頑張りましょう。（大辻）

◆編集後記

Editor's note

▼10月3日で東西ドイツが統一されて30年になるそうです。私の小さいころ、テレビでベルリンの壁が倒壊するシーンが何度も流されていたので印象に残っています。早く新型コロナウイルス感染症が収束し、そういった歴史に触れる旅に行けるようになることを願うばかりです。（結城）